

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		鈴鹿市第2療育センター			公表日		令和7年2月27日	
		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9			・活動によっては、空間を広く使って活動を行っている。 ・職員の配置人数や使用する物で調整している。 ・集団の人数が少ないため、十分な空間がある。	・利用される方と職員数を考え、提供させていただく課題・活動の検討を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9			・スタートやルートが分かるようにまっている。 ・洗いにくいものもある。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1			・必要に応じてアルコール等で消毒をするが、定期的にマットなどを外して洗浄を行い環境を整えていく必要がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1		・静養室などお子様や保護者様の体調等に合わせて使用いただける部屋がある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		・評価表でいただいたご意見等から業務改善につなげられるよう話し合いを持つようにしている。また評価表以外にもいただいたご意見について改善できるよう話し合う機会を設けている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1		・年間で10回以上の職員研修を実施している。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	3		・HPや掲示板を活用し公表予定です。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	2				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	2				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			・療育の様子も定期的に会議で共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	3				

	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			・その都度、作成に気を付けている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	3		・各クラスの担当者が行っている。 ・少人数のクラスを担当制で行っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9			・担当制のため、必要に応じて積み重ねる活動と、固定化しないような工夫をするところがある。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9			・会議で共有される集団療育と個別活動の情報を組み合わせて計画を作成している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			・毎回担当で打ち合わせを行い、目的や役割り分担を確認している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9			・活動終了後には、次回に向けての検討を毎回行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9				
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			・定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しをしている。また、必要に応じて見直しをしている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	1			
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9			・活動するために必要なルールはあるがどのような方法で順番を決めるのかなど自分たちで考え決める機会を設けている。また必要に応じてフォローをしている。	
関係機関や保護者との	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9				
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1			
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	4		・保護者様が送迎して下さるため、そのようなことは少ない。 ・相談があれば対応する準備はあるが、今のところ大きなトラブルはありません。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	4		・必要であれば行いますが、就学したお子様のことで園等と連携する機会はあまりありません。 ・すずっこファイルでの共有を行っている。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	5		・相談が担っている。 ・相談支援員と連携を取って必要に応じて情報提供をしている。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	2			

	チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
連携	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	6	1		・放課後児童クラブのお子様と療育センターの職員は話すことはありますが、お子様同士の交流の機会はありません。 ・交流はありませんが、地域との交流やつながりは重要だと感じています。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4		・担当者が参加している。	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9				
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2			・ご家族の相談はお受けするがペアトレは対象となっていない。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1		・運営規程はいつでも見られる。 ・保護者様をはじめ、どなたでもいつでも手に取ってご覧いただけるようになっている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9				
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9				
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9				
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	5	1		・保護者様同士の交流は、今後の課題の1つである。 ・保護者様の交流の場や勉強会など検討していく。
	41 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9				
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9			・保護者様向けメール『きずなメール』を活用して、様々な情報を配信している。 ・SNS(インスタやFB等)や地域向け広報紙を活用して、保護者様だけでなく各関係機関に対して情報発信している。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9				
	44 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9				
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	1		
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1			・児童発達支援サービスを利用されている方を対象とした避難訓練、引き渡し訓練はあるが、放課後等デイサービスを利用されている方を対象とした訓練は実施していない。今後検討していく必要がある。
	47 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9				

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9				
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様から聞き取りをしたうえで対応している。 ・保護者様から情報を詳しく聞き取り、対応している。また、医師によるエピペンの使用についての研修を受けたことがある。 ・今年度より個別の緊急情報カードを作成し、カード内にアレルギー等が記載されている。 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を作成している。散歩など屋外活動の前には下見に行き危険な場所の有無を確認し、安全を確保している。 ・遊具の点検やAEDの点検なども定期的に行っている。 	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			<ul style="list-style-type: none"> ・研修を受ける機会の確保がなされている。また虐待防止委員会主催の研修会が年1回開催されており、当日参加できなかった職員も後日、動画視聴している。 	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9			<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束が必要な方のご利用はありません。 	